

2019年11月期

決算説明会



株式会社マルカ

証券コード：7594

2020年1月21日

1.	2019年11月期 決算の概要		
	① 2019年11月期 決算	3
	② 産業機械部門の業績	11
	③ 建設機械部門の業績	16
2.	新中期経営計画		
	① 新中期経営計画の概要	20
3.	2020年11月期 業績予想及び営業戦略		
	② 2020年11月期 業績予想	28
	③ 営業戦略の進捗（産業機械・グローバル機材部門）	30
	④ 営業戦略の進捗（建設機械部門）	36
	⑤ 株主還元	37
	(補足資料)		
	会社の概要	38

2019年11月期 決算の概要

(2018年12月1日～2019年11月30日)

売上高は前期比7.3%増の692億円、営業利益は同3%増の27億円となり、いずれも過去最高記録を更新

経常利益は、営業外費用の増加により前期比3.8%減も、当期純利益は、固定資産売却益の計上等により前期比40.2%増

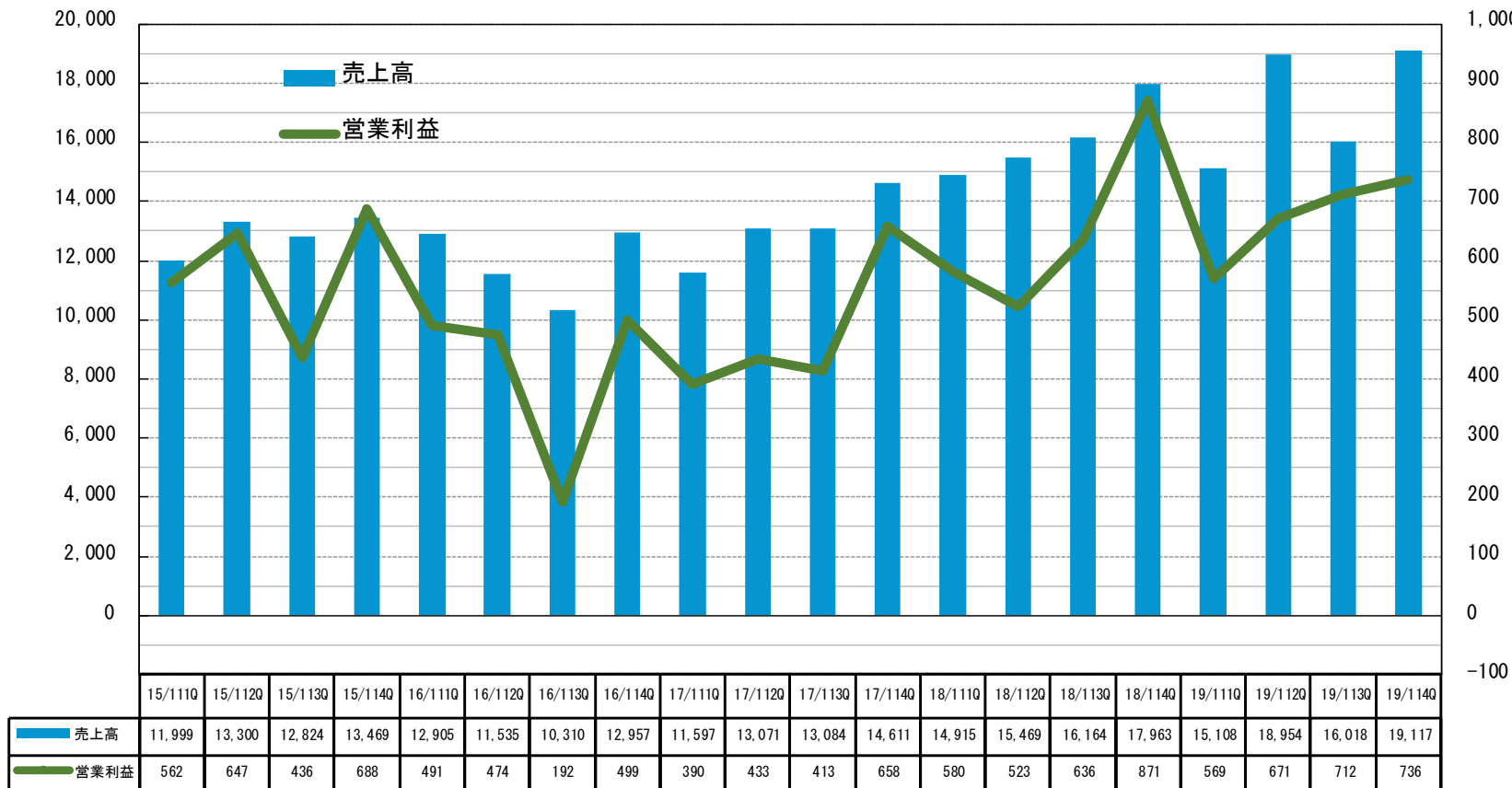
- 産業機械部門は、自動車業界向けの販売が堅調に推移し、前期6.2%の増収
- 建設機械部門は、基礎業界向けの販売が伸長し、前期比13.9%の増収

国内売上高は、産業機械等の販売が伸長し、前期比9.2%増の391億円
海外売上高は、前期比4.8%増（海外売上高比率43.4%）

- 米州は、射出成形機の販売が伸びず横ばい
- 中国は、日系自動車業界向けに販売が伸長
- アジアは、主力拠点であるタイ・インドネシアが堅調

売上高： 百万円

営業利益： 百万円



単位：百万円

	15/11期		16/11期		17/11期		18/11期		19/11期	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	25,299	26,293	24,441	23,266	24,668	27,694	30,384	34,127	34,062	35,135
営業利益	1,209	1,182	965	691	823	1,071	1,103	1,507	1,240	1,448

主力商品の販売が堅調。産業機械、建設機械とも増収

販売管理費及び営業外費用の増加により経常減益

単位：百万円

	18/11期		19/11期		前期比 (%)	期初計画 (19/1/15)	同計画比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)			
売上高	64,511	100.0	69,197	100.0	7.3	67,000	3.3
産業機械	55,617	86.2	59,076	85.4	6.2	58,160	1.6
内、グローバル機材	9,422	14.6	8,859	12.8	▲ 6.0	9,900	▲ 10.5
建設機械	8,825	13.7	10,055	14.5	13.9	8,760	14.8
その他	68	0.1	65	0.1	▲ 3.6	80	▲ 18.8
売上総利益	8,829	13.7	9,107	13.2	3.0	9,300	▲ 2.1
販売管理費	6,202	9.6	6,384	9.2	2.9	6,600	▲ 3.3
営業利益	2,610	4.0	2,688	3.9	3.0	2,700	▲ 0.4
経常利益	2,850	4.4	2,741	4.0	▲ 3.8	2,900	▲ 5.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,922	3.0	2,694	3.9	40.2	2,700	▲ 0.2
1株当たり当期純利益	227.64円	—	318.94	—	—	320.89円	—
ROE	9.7%	—	12.5%	—	—	—	—

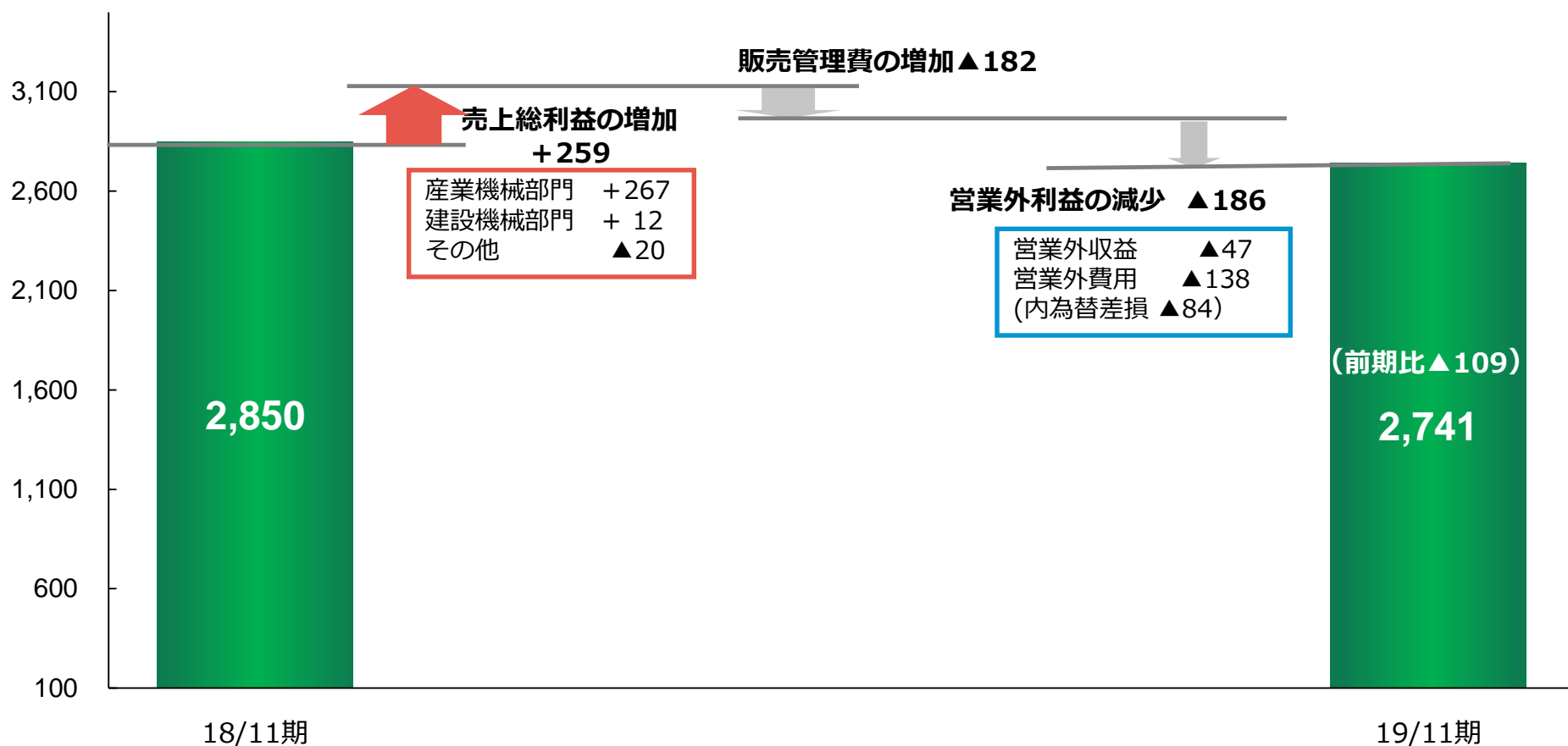
1株当たり配当金	45円	—	52円	—	+7円	49円	+3円
人	627人	—	713人	—	+86人	—	—

経常利益変動要因

売上総利益は、産業機械部門の貢献増加

販売管理費及び営業外費用（為替差損等）の増加により経常減益


単位：百万円



■ 主な増加要因は、人員増による人件費の増加

単位：百万円

	18/11期	19/11期	増減額	主な要因
人件費	3,646	3,844	198	人員増
旅費・交通費など	731	745	14	
支払家賃	323	389	66	東京支社移転
営繕・事務用品など	134	137	3	
減価償却費	126	135	9	
その他	1,242	1,134	▲ 108	展示会費用等減少
合計	6,202	6,384	182	


総資産は現預金の減少、売上債権が増加
有利子負債は、子会社（ミヤザワ、マルカアメリカ他）の借入金が増加

資産

	18/11期末	19年11期末	備考
現金預金	10,205	9,186	
売上債権	22,649	25,658	電子記録債権 1,176 売掛金 1,468
その他流動資産	7,389	7,235	
有形固定資産	6,397	6,575	東京自社ビル▲788 ミヤザワ 600
無形固定資産	338	437	
その他固定資産	2,031	2,434	
総資産	49,012	51,528	

負債・純資産

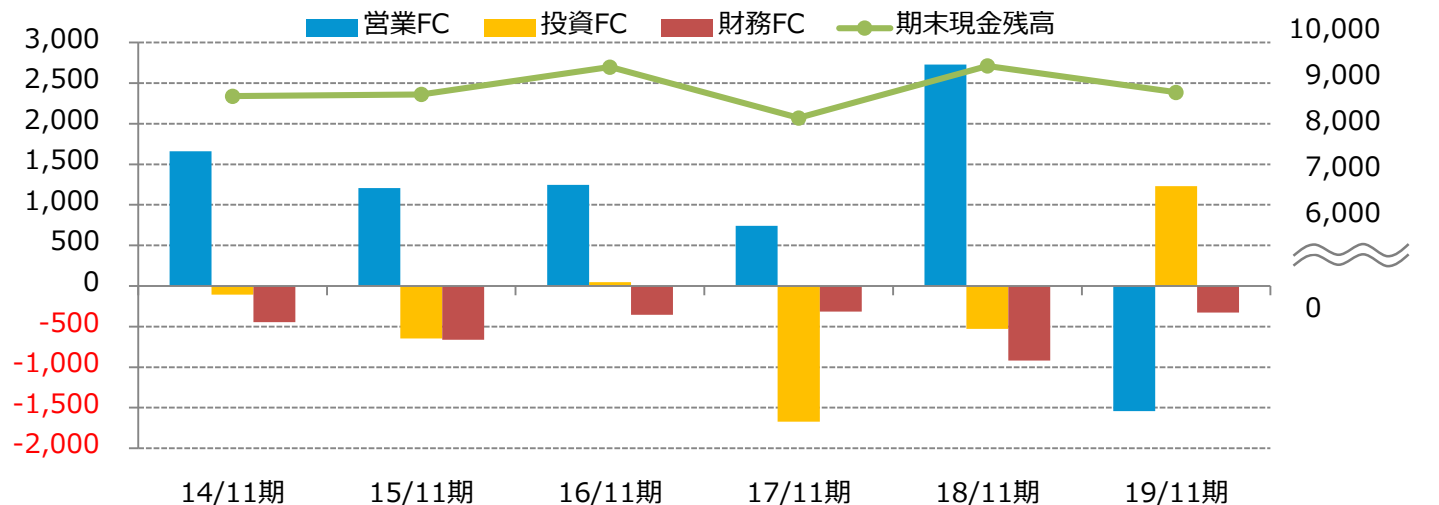
単位:百万円

	18/11期末	19年11期末	備考
仕入債務	22,354	21,579	電子記録債務▲473 買掛金▲183
短期有利子負債	436	1,212	借入金 778 (ミヤザワ他)
その他流動負債	4,560	4,184	前受金▲889
長期有利子負債	297	930	借入金 633 (ミヤザワ他)
その他固定負債	290	372	
負債	27,938	28,280	
純資産	21,073	23,248	剰余金の配当(▲423 百万円)、当期純利益 の計上(2,694百万円)

単位：百万円

	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期
営業活動によるCF	1,662	126	1,246	743	2,727	▲ 1,543
投資活動によるCF	▲ 108	▲ 647	46	▲ 1,671	▲ 529	1,231
フリーキャッシュフロー	1,554	559	1,292	▲ 928	2,198	▲ 312
財務活動によるCF	▲ 446	▲ 662	▲ 356	▲ 316	▲ 921	▲ 327
期末現金残高	8,680	8,723	9,398	8,144	9,424	8,772
設備投資額	297	570	840	2,261	702	479
減価償却費	258	210	252	309	325	389

単位：百万円



単位：百万円

国内はマルカ単体は堅調、子会社は増収減益

単位:百万円

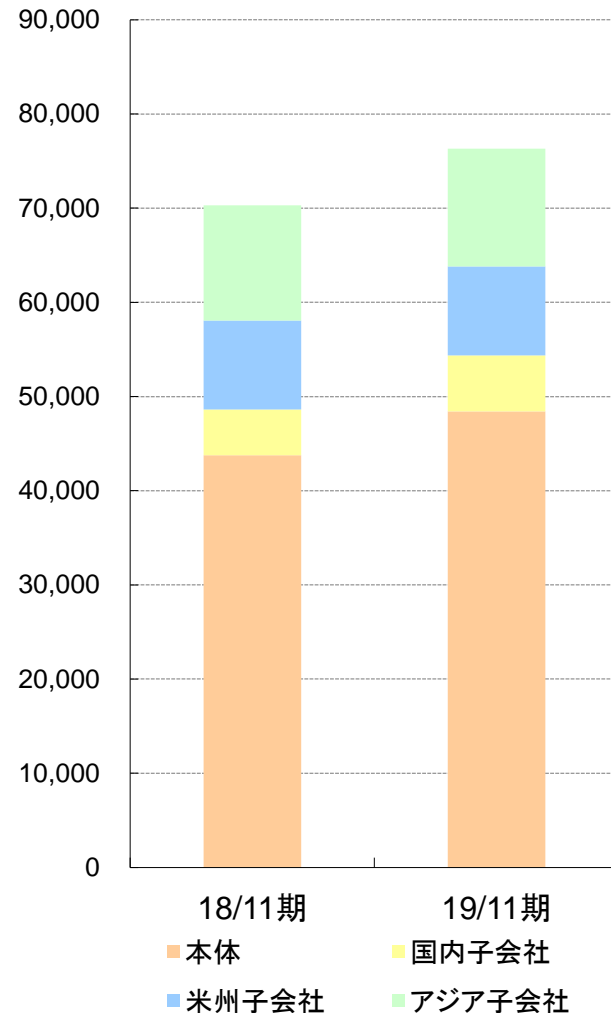
	売上高		営業利益		経常利益	
	18/11期	19/11期	18/11期	19/11期	18/11期	19/11期
連結	64,511	69,197	2,610	2,688	2,850	2,741
単体	43,752	48,412	1,827	2,128	2,165	2,529
国内子会社	4,875	5,960	297	164	342	200
海外子会社	21,685	21,946	425	396	429	354
連結消去	▲ 5,801	▲ 7,121	61	▲ 1	▲ 86	▲ 342

売上高の前期対比

マルカカイ単体	国内子会社	米州子会社	アジア子会社
➡	➡	➡	➡

売上高の推移(連結消去前)

単位:百万円



産業機械部門

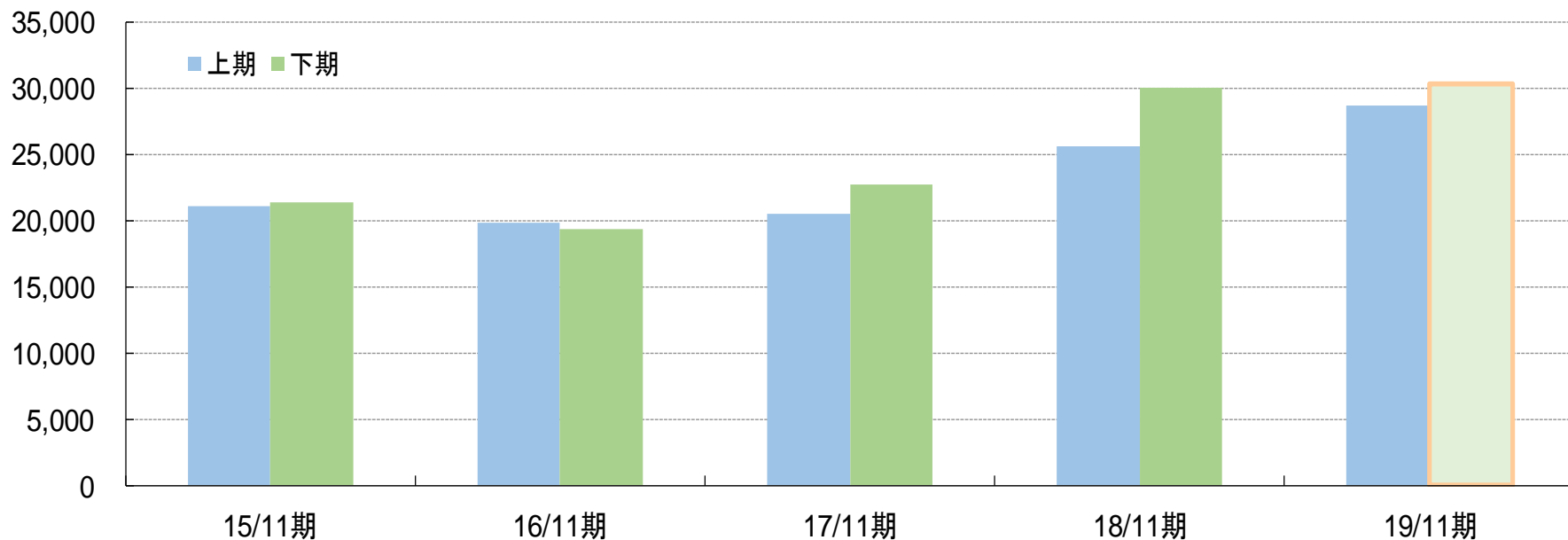


下期も堅調に推移し、前期を上回る上場来最高の水準

単位：百万円

	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	前年同期比 (%)
上期	21,104	19,824	20,483	25,577	28,725	12.3
下期	21,379	19,378	22,748	30,040	30,351	1.0
合計	42,483	39,202	43,231	55,617	59,076	6.2

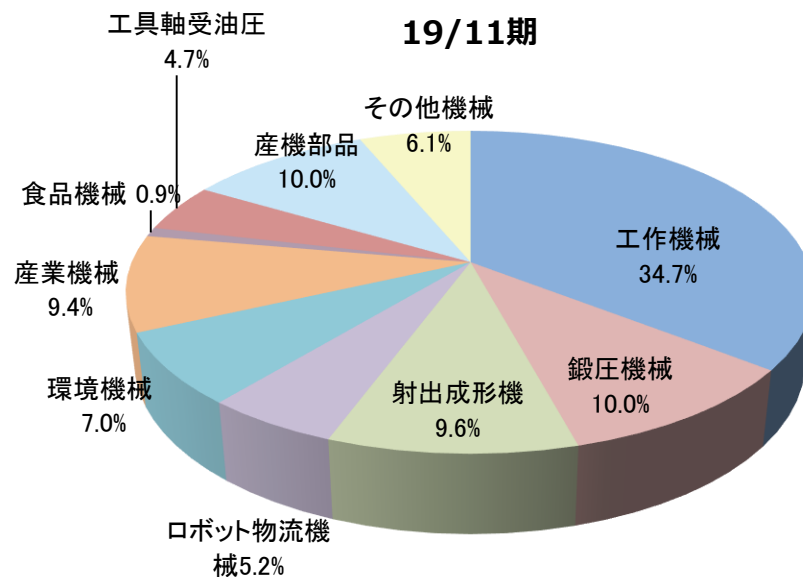
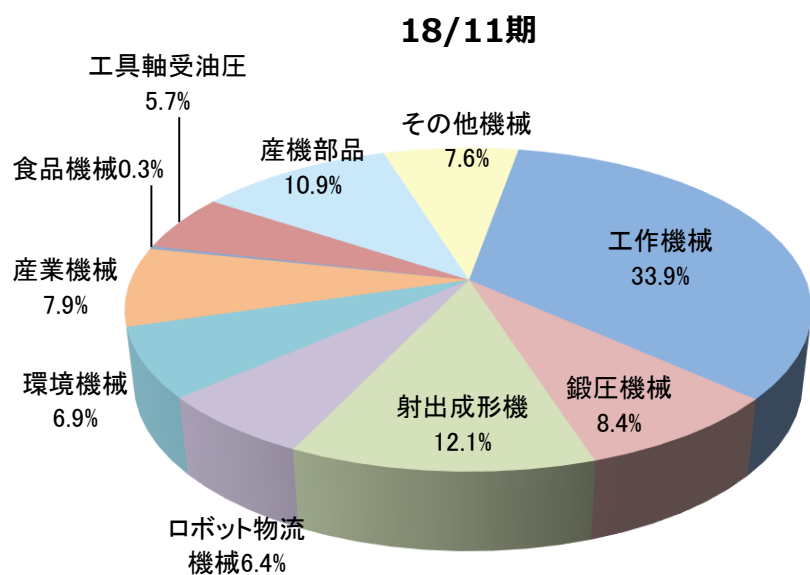
単位：百万円



■ 鍛圧機械、産業機械は二桁増、主力の工作機械は堅調、食品機械も大幅伸長
■ 射出成形機、ロボット・物流機械は減少

単位：百万円

		工作機械	鍛圧機械	射出成形機	ロボット物流機械	環境機械	産業機械	食品機械	工具軸受油圧	産機部品	その他機械
18/11期	55,617	18,837	4,685	6,735	3,533	3,859	4,378	159	3,149	6,048	4,228
19/11期	59,076	20,501	5,907	5,676	3,098	4,109	5,542	547	2,773	5,894	5,025
前期比(%)	6.2	8.8	26.1	△ 15.7	△ 12.3	6.5	26.6	242.4	△ 11.9	△ 2.5	18.8

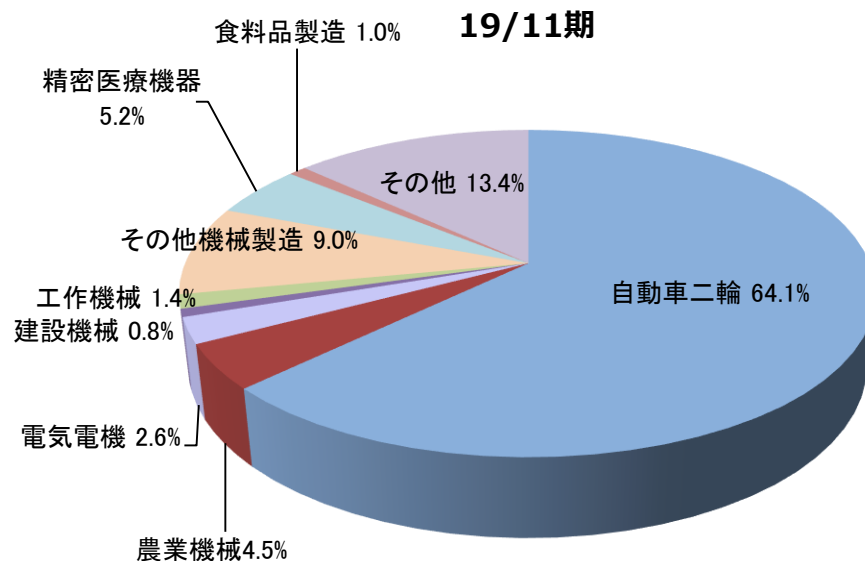
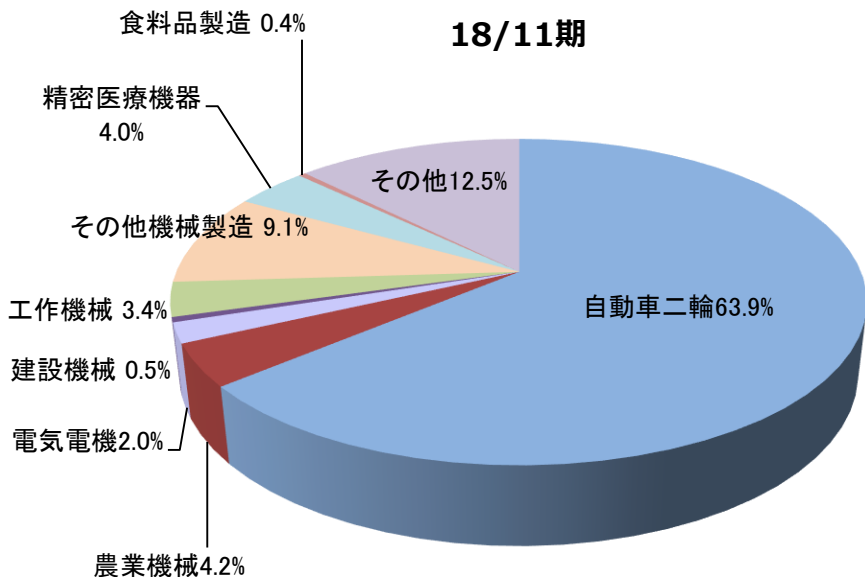


※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率

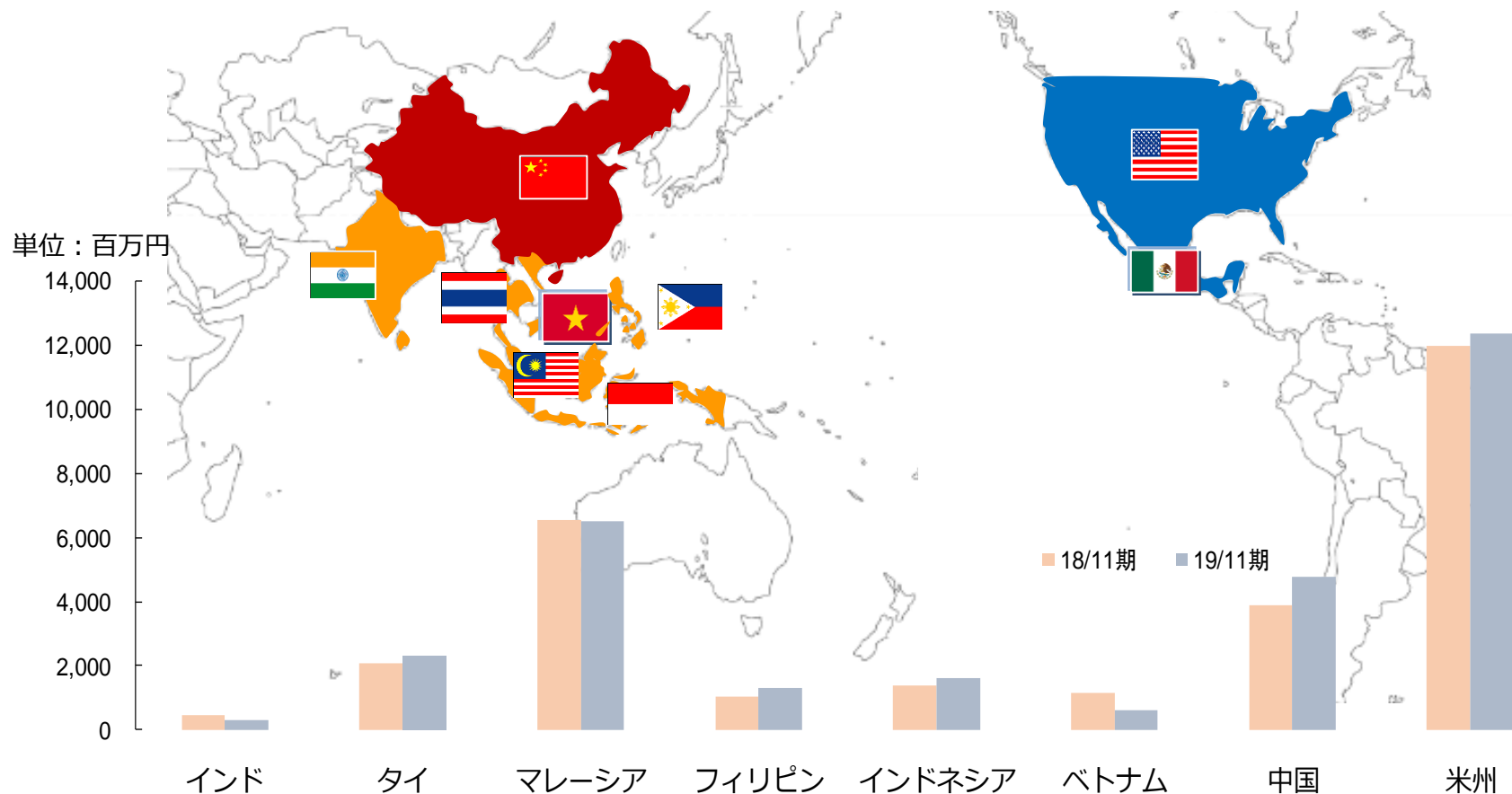
自動車業界向けが堅調。農業機械業界や精密医療機器業界向けも伸長

単位：百万円

	産業機械計									
	自動車 二輪	農業機械	電気電機	建設機械	工作機械	その他 機械製造	精密医療 機器	食料品 製造	その他	
18/11期	55,617	2,321	1,113	227	1,905	5,075	2,206	231	6,967	
19/11期	59,076	2,648	1,510	481	827	5,291	3,092	572	6,786	
前期比(%)	6.2	14.1	35.7	73.5	△ 56.5	4.3	40.2	147.8	△ 2.6	



※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率



単位：百万円

拠点	インド	タイ	マレーシア	フィリピン	インドネシア	ベトナム	中国	米州	その他	海外計
18/11期	442	2,093	6,538	1,034	1,368	1,142	3,909	11,978	128	28,634
19/11期	305	2,300	6,531	1,287	1,629	593	4,766	12,396	102	29,914
前期比(%)	△ 30.9	9.9	△ 0.1	24.5	19.1	△ 48.0	21.9	3.5	△ 19.8	4.5

建設機械部門

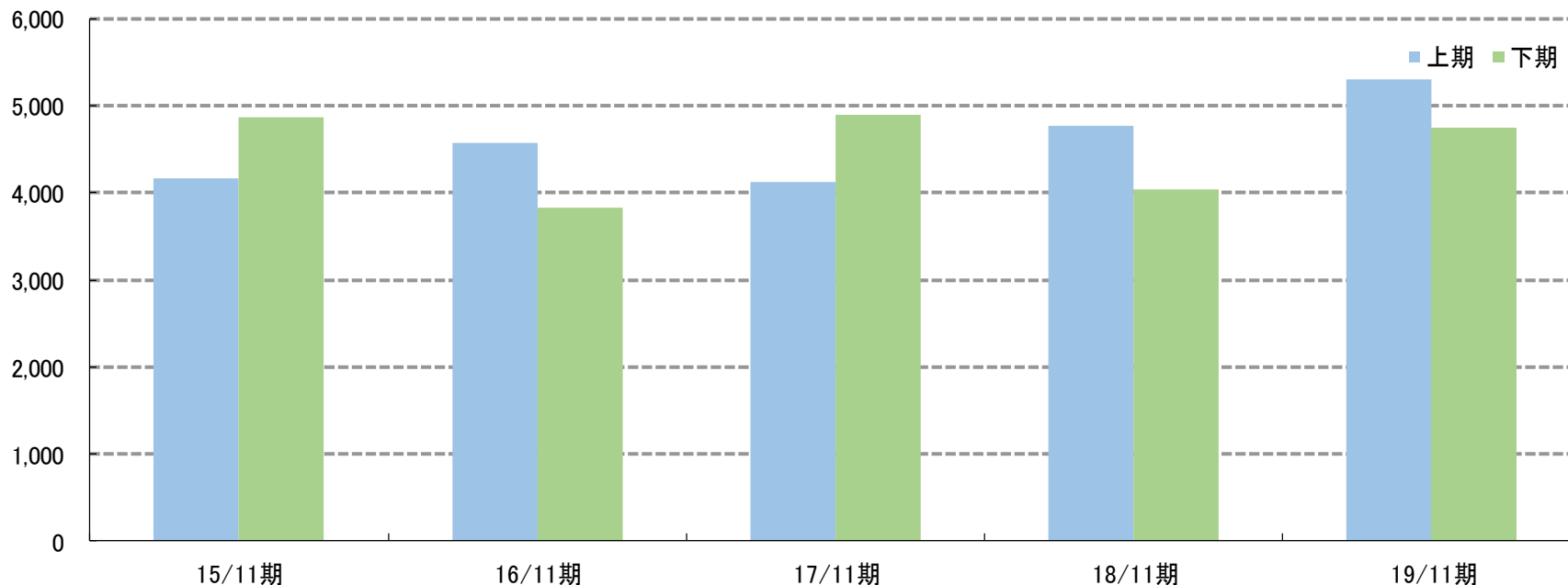


基礎機械の販売が伸長、15/11期を上回り100億円を突破

単位：百万円

	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	前年同期比 (%)
上期	4,165	4,573	4,124	4,778	5,307	11.1
下期	4,878	3,829	4,902	4,047	4,748	17.3
合計	9,043	8,403	9,026	8,825	10,055	13.9

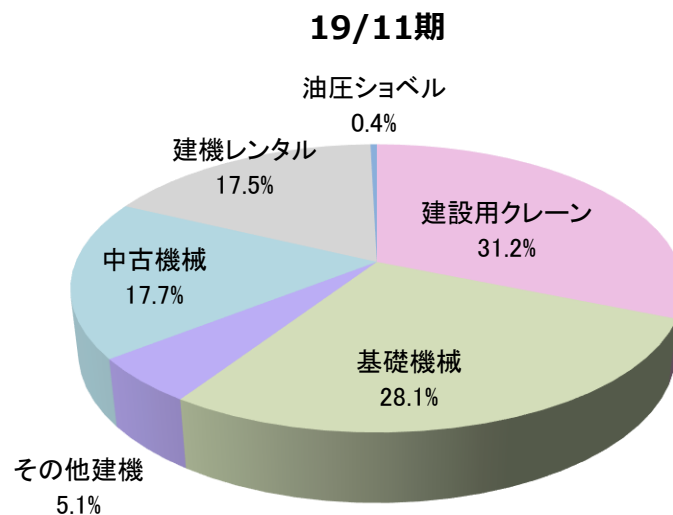
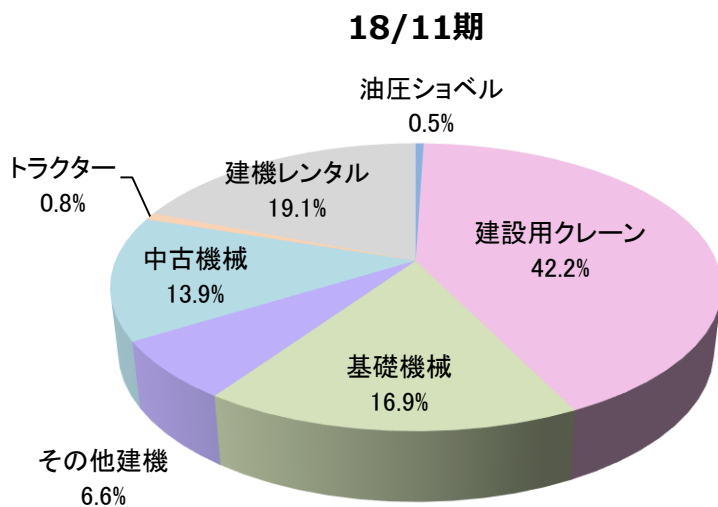
単位：百万円



主力の建設用クレーンが減少も、基礎機械が大幅増加

単位：百万円

	建設機械計							
	油圧シヨベル	建設用クレーン	基礎機械	その他建機	中古機械	トラクター	建機レンタル	
18/11期	8,825	47	3,725	1,493	581	1,222	72	1,683
19/11期	10,055	40	3,137	2,825	515	1,780	-	1,756
前期比(%)	13.9	▲ 14.5	▲ 15.8	89.2	▲ 11.6	45.7	▲ 100.0	4.3



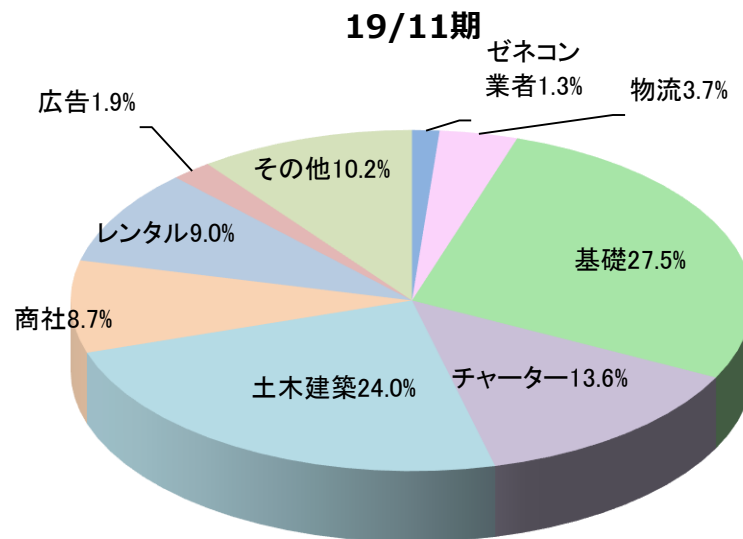
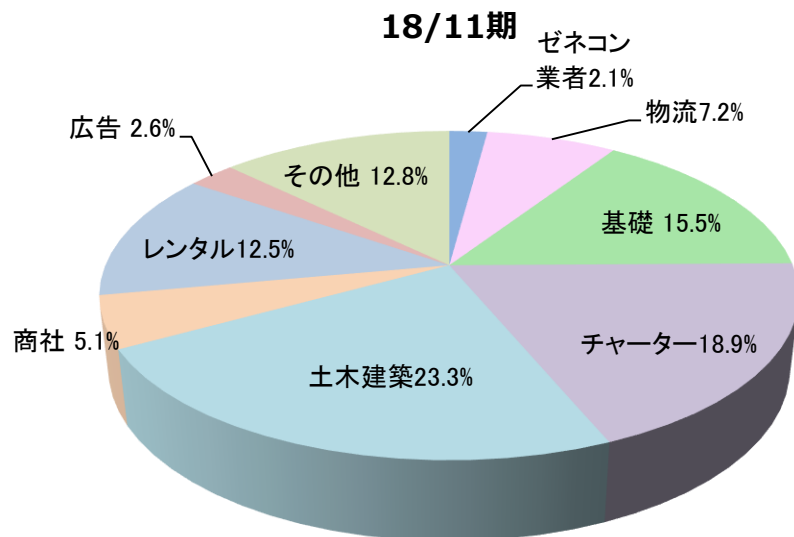
※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

基礎業界向けや商社向けが増加

単位：百万円

	建設機械計										
		ゼネコン 業者	物流	基礎	チャーター ※	土木 建築	商社 (輸出)	社 レンタル	広告	その他	
18/11期	8,825	185	636	1,367	1,667	2,058	446	1,104	229	1,129	
19/11期	10,055	130	372	2,760	1,370	2,408	878	909	195	1,029	
前期比(%)	13.9	▲ 29.5	▲ 41.5	101.9	▲ 17.8	17.0	96.7	▲ 17.7	▲ 14.9	▲ 8.9	

※チャーター＝オペレーター付きで、クレーンの吊上げ作業等を請け負う工事業者



※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

新中期経営計画

(2020年11月期～2022年11月期)

- 2019年3月期の売上高、営業利益は、過去最高となり、2020年11月期を最終年度とする前中期経営計画の数値目標を1年前倒しで、ほぼ達成
- 食品機械など新しい分野へ継続的に投資した一方で、採算性の問題から海外の自動車部品輸出事業から撤退するなど事業ポートフォリオも変化しつつある
- 事業環境の変化やそれに伴う経営課題の変化を総合的に勘案し、2020年11月期を初年度とした新たな3ヶ年の中期経営計画を策定

前中期経営計画（実績）

	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	20/11期 当初計画値
売上高	47,708	52,363	64,511	69,197	65,000
産業機械	39,202	43,231	55,617	59,076	42,000
建設機械	8,403	9,026	8,825	10,055	13,000
その他	102	106	68	65	10,000
営業利益	1,657	1,894	2,610	2,688	3,000
営業利益率	3.5%	3.6%	4.0%	3.9%	4.6%

①既存ビジネスの拡大

- ・産業機械は、自動車業界向けを中心に主力商品の販売が好調に推移し、計画を上回る
- ・建設機械も、主力の基礎機械に加え、レンタル事業も好調に推移し、計画を大きく上回る

②海外売上高比率を50%に（産業機械部門）

- ・国内売上の増加に伴い海外売上高比率は目標に届かず（2019年11月期：43.4%）

③MM会の機能発揮、商品拡大と市場拡大

- ・システムインテグレータなど4社が加入し、24社へ。取扱実績は2016年11月期比倍増

④新規分野、新商品の商権拡大、M & A 推進による新規事業開拓

- ・2017年12月に切削工具関連の消耗品を販売する北九金物工具(株)、2019年7月に食品機械製造会社の(株)ミヤザワを子会社化
- ・2018年11月期からEV関連市場へ進出し、電動車両用モーターの製造設備の販売を開始

1

お取引先様から最も信頼される、唯一無二のパートナー企業

2

日米中亜の総力結集、経営資源最適化による将来の連結売上高1,000億円企業

3

食品機械など新規事業へ積極的創出を推進し、起業家精神の溢れる個性的なグローバル企業

1

UNIQUE SOLUTIONSの探求 (マルカの強みを生かした問題解決による付加価値創造)

- ・エンジニアリング機能を持った技術商社への変革
- ・MM (マルカメーカー) 会、FMM (フードメーカー) 会企業の拡充、独自の商品群の強化
- ・直販型営業による対面営業力の強化と、日米中亜四極連携による情報共有

2

成長分野への進出、新規事業推進

- ・50億円規模のファンドを設立し、M & Aにより継続的かつ積極投資を行う
- ・食品機械事業の拡大、2022年11月期に売上高50億円を目指す
- ・EV関連事業の拡大、自動化、無人化推進、AI・IoT関連ビジネスへの進出

3

海外売上高300億円 (売上比率40%超) を目指す

4

経営体質強化

5

人材育成の実践

6

ガバナンス・コンプライアンスの徹底、株主還元の充実

■ 新中期経営計画の数値目標



単位：百万円

	2019/11期	
	金額	構成比
売上高	69,196	100%
産業機械	59,076	85%
建設機械	10,055	15%
その他	65	0%
営業利益	2,688	-
営業利益率	3.9%	-

2020/11期		2021/11期		2022/11期	
金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
63,000	100%	67,000	100%	72,000	100%
53,650	85%	57,126	85%	61,500	85%
9,280	15%	9,800	15%	10,420	15%
70	0%	74	0%	80	0%
2,400	-	2,800	-	3,600	-
3.8%	-	4.2%	-	5.0%	-

■ 新中期経営計画の数値目標



単位：百万円

		2019/11期	
		金額	構成比
売上高		69,197	100%
	国内	39,144	57%
	海外	30,053	43%
	米州	12,397	18%
	中国	4,771	7%
	東南アジア	12,831	19%
	その他	54	0%

		2020/11期		2021/11期		2022/11期	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高		63,000	100%	67,000	100%	72,000	100%
	国内	40,000	64%	41,000	61%	42,000	58%
	海外	23,000	37%	26,000	39%	30,000	42%
	米州	11,000	18%	12,500	19%	13,700	19%
	中国	4,500	7%	5,400	8%	6,700	9%
	東南アジア	7,500	12%	8,100	12%	9,600	13%
	その他	0	0%	0	0%	0	0%

2020年11月期 業績予想及び営業戦略

(2019年12月1日～2020年11月30日)

■ 新中期経営計画初年度。自動車部品事業からの撤退、足元の受注状況や事情環境により減収減益を予想。

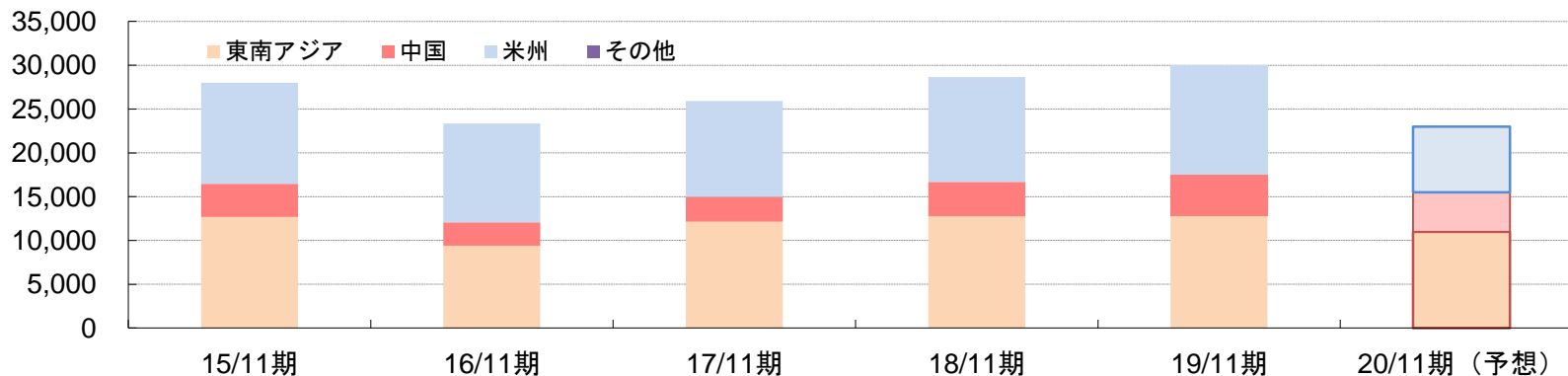
単位：百万円

	19/11期	20/11期予想			前期比 (%)
		上期	下期	通期	
売上高	69,197	31,500	31,500	63,000	△ 9.0
産業機械	59,076	26,825	26,825	53,650	△ 9.2
内、グローバル機材	8,859	4,095	4,095	8,190	△ 7.6
建設機械	10,055	4,640	4,640	9,280	△ 7.7
その他	65	35	35	70	7.7
売上総利益	9,107	4,500	4,600	9,100	△ 0.1
販売管理費	6,384	3,300	3,400	6,700	4.9
営業利益	2,688	1,200	1,200	2,400	△ 10.7
経常利益	2,741	1,250	1,250	2,500	△ 8.8
親会社に帰属する当期純利益	2,694	850	850	1,700	△ 36.9
1株当たり当期純利益	318.94円	100.99円	100.98円	201.97円	—
期末(想定)為替レート米ドル/円	109円56銭	—	—	107円00銭	—
1株当たり配当金	52円	24円	28円	52円	—

単位：百万円

	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	20/11期 (予想)
米州	11,528	11,279	10,916	11,978	12,397	11,000
中国	3,806	2,680	2,840	3,909	4,771	4,500
東南アジア(含むインド)	12,680	9,393	12,153	12,771	12,831	7,500
その他	276	4	0	15	54	0
海外売上合計	28,292	23,357	25,910	28,674	30,053	23,000
海外売上高比率(%)	54.8	49.0	49.5	44.4	43.4	36.5
期末為替レート	122円82銭	112円42銭	112円07銭	113円49銭	109円56銭	107円00銭

単位：百万円



米 州

事業環境 米中貿易摩擦の激化に歯止めがかかりつつも、不透明感が続くと予想

● 北米における工作機械販売テリトリーの拡大

- ・前期の北米における工作機械の売上高は、自動車業界を中心に45億円（前期比19%増）
- ・今期も前期以上の販売を目指す。

● I T I 社、管製作所製品とのシナジーの更なる強化

● 北米市場における電動射出成形機の大型機、豎型機、次世代機の販売強化

- ・前期の北米電動機シェア7.2%
- ・前期の販売台数は136台の実績、今期目標150台

● Fu-Chun-Shin製（台湾射出成形機メーカー）製油圧式プラスチック成形機の販売強化

販売台数/台	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期		20/11期 予想
					計画	実績	
FCS成形機	15	9	21	25	30	17	40

● メキシコ市場における日系ユーザー攻略、非日系ユーザーの拡販 重点商品に加え、現地メーカーの販売強化を図る

東南アジア

事業環境

総じて底堅さは維持するも、米中対立の影響により、国・地域別で二極化傾向が続くと予想

● 重点商品、MM会商品、食品機械の拡販。部品・サービス販売の一層の拡大

- ・タイ = 重点商品、MM会及びTMM会商品、食品機械、部品・サービス売上の拡販
省力化、自動化への対応強化
- ・マレーシア = 重点商品、MM会商品、部品・サービス売上の拡販
ローカルユーザー、非自動車関連への受注拡大
- ・インドネシア = 二輪、自動車業界への拡販。農機、エアコン業界の攻略
食品機械の販売促進
- ・ベトナム = 3拠点（ハノイ、ホーチミン、ハイフォン）体制強化より、
重点商品、工作機械、食品機械の拡販を図る
- ・フィリピン = OA機器業界への営業展開、部品・サービス販売の拡販
- ・インド = 日系有力ユーザーの大型投資案件の受注取り込み

中国

事業環境 米中貿易摩擦の激化に歯止めがかかりつつも減速基調が続くと予想

- 重点商品（東洋機械金属製品、コマツ産機製品）、MM会商品の拡販
- 自動化・省力化装置、電気自動車関連商品の拡販（成長分野への販売強化）
- 非自動車関連企業、地場企業及び日系企業の開拓
- 中国製機械の取扱拡大

売上高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期		20/11期 予想
									修正計画	実績	
中国製機械	9.0	13.0	18.0	16.0	13.3	10.4	8.3	8.3	20.0	25.0	25.0
台湾製機械	7.3	6.8	8.3	8.0	4.4	2.1	3.9	0.8	2.0	2.3	2.0

日本

事業環境

世界的な景気減速懸念の影響による設備投資の延期、見直しにより工作機械の受注回復は予想以上に遅れると予想

● 海外売上高

- ・前期の海外売上高は300億円（海外売上高比率は43.4%）
- ・今期は230億円（海外売上高比率36.5%）を計画

● 部品・消耗品・サービス売上のさらなる拡大

売上高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期		20/11期 予想
									計画	実績	
部品・修理 消耗品	67	85	93	100	146	131	137	178	190	184	130

● 重点メーカー製品の拡販

- ・射出成形機（東洋機械金属） → 今期目標 50台（前期 49台）
- ・鍛圧板金機械（コマツ産機） → 今期目標 40台（前期 36台）
- ・DMG森精機（工作機械） → 今期目標 20台（前期 18台）

● ロボットシステムの拡販

- ・ロボットSIの発掘。顧客ニーズに沿ったあらゆるメーカーでの対応を進め、今期は270台の取引実績を目指す（前期は279台の実績）

● MM会商品の取扱いをさらに拡大（自動機組立機メーカーが新たに1社加入）

取扱高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期		20/11期 予想
									計画	実績	
MM会商品	15	33	36	43	39	35	34	53	60	73	80

● 新市場、成長分野への取り組み推進

（1）食品関連事業

- ・ミヤザワ製品の拡販（2019年7月に食品機械製造会社の株式を取得し子会社化）
- ・F-MM会(FOOD MAKER&MARUKA)とのシステム受注に注力
前期のF-MM会商品の取扱高は2.1億円。今期は5億円を目指す

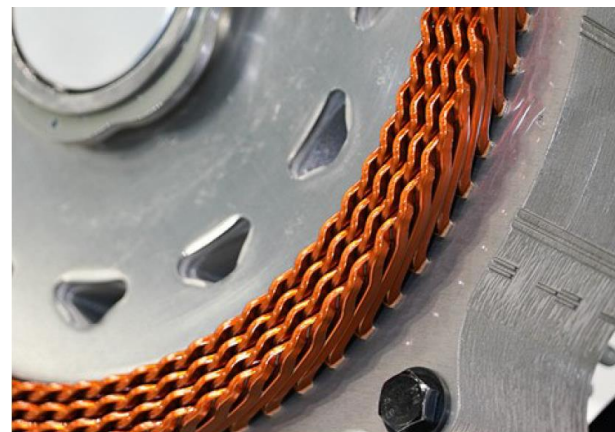
（2）EV関連事業

- ・前期のEV関連売上は19億円。今期は35億円の売上を目指す

EV関連事業の販売拡大へ

- ✓ 日立オートモティブ電動機システムズ向けに、電動車両モーターの製造設備（コイル成型機）を販売
- ✓ コイル成型機は、MM会参加企業である丸昭機械及びユーテックが制作
- ✓ 前期の販売総額は19億円、今後さらにEV関連取引の拡大を図る

日立AMSの「ホンダ向けi-MMD用モーター」



分布巻きの特徴を活かし、コイルを2スロットから4スロットに分散させてトルクリップルを減らしている。分布巻きはトルク密度が高い

日本

事業環境 建設投資や住宅投資はいったん弱まり停滞すると予想

● コンクリートポンプ車の拡販

- ・前期の販売実績は、関西、関東、九州で計25台、4.3億円の売上高
今期は新車・中古合わせ30台を目指す

● 輸入建設機械商品の拡販

- ・前期は、ドイツの各種アタッチメントの販売が伸長
- ・今期は12台の販売を目指す

商品	19/11期目標		19/11期実績		20/11期目標	
	受注	売上	受注	売上	受注	売上
イタリアMagni社のテレハンドラー	4台	1台	—	—	1台	1台
フィンランドKALMAR社のリーチスタッカー	1台	—	3台	—	4台	4台
ドイツERAKAT社の岩石掘削機アタッチメント	1台	2台	5台	4台	3台	4台
ドイツKEMROC社の切削機アタッチメント	2台	2台	3台	1台	1台	3台

● 基礎機械の拡販

- ・前期は62台の販売、今期は46台の販売を計画

配当方針及び配当金の推移

配当につきましては、安定配当を基本方針とし、財務体質の強化を図りながら、利益に見合った配当を行っていく予定です。連結配当性向25%~30%を目指します。

1株当たり配当金及び配当性向の推移

	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期		20/11期 (予想)
						期初予想	修正予想	
中間配当	12円	15円	15円	17円	20円	22円	24円	24円
期末配当	14円	20円	(※1)22円 (記念2円)	23円	(※2)25円 (記念2円)	25円	28円	28円
年間配当	26円	35円	37円	40円	45円	47円	52円	52円
配当性向	14.6%	17.9%	34.9%	27.7%	19.8%	14.6%	16.3%	25.8%
総還元性向	14.6%	43.8%	54.8%	43.3%	34.5%	—	19.8%	—

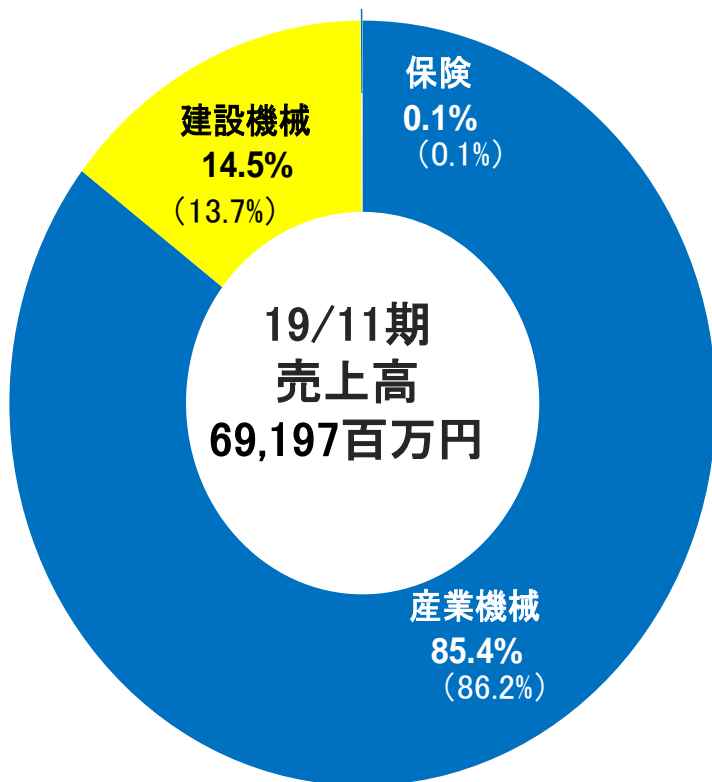
(※1) 創立70周年記念配当2円を含む (※2) 上場20周年記念配当2円を含む

*2015年11月期に約4.5億円、2016年11月期に約1.8億円、2017年11月期に約1.9億円、2018年11月期に約2.8億円、2019年11月期に約0.9億円の自社株を取得

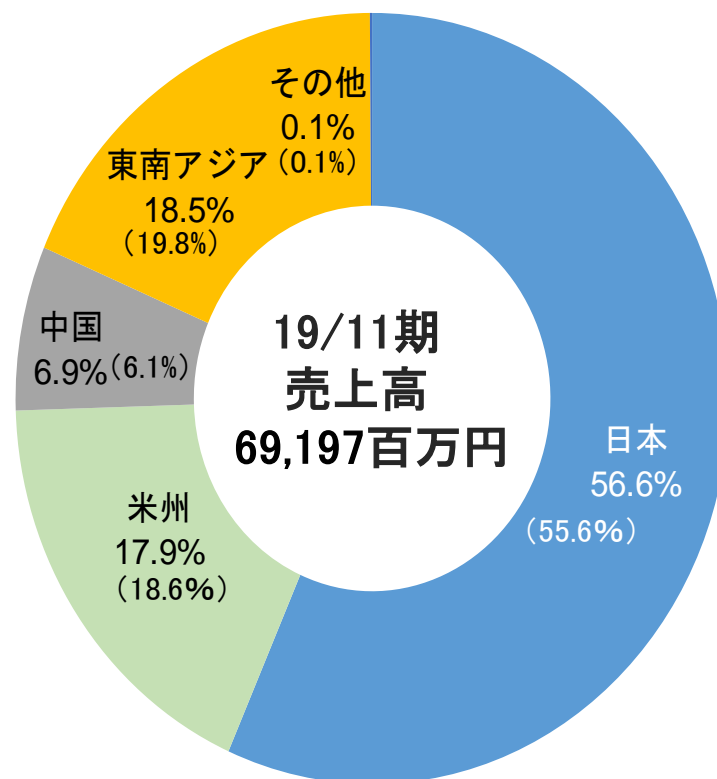
補足資料

日本・米国・中国・東南アジアで産業機械と建設機械の販売を行い、海外に進出する日系企業や現地企業との取引を拡大

部門別売上高構成



地域別売上高構成



※括弧内は18/11期売上高64,511百万円の構成比

※海外売上高には国内渡し海外仕向けを含む

生産工場の中で働く、物づくりに欠かすことのできない機械を販売

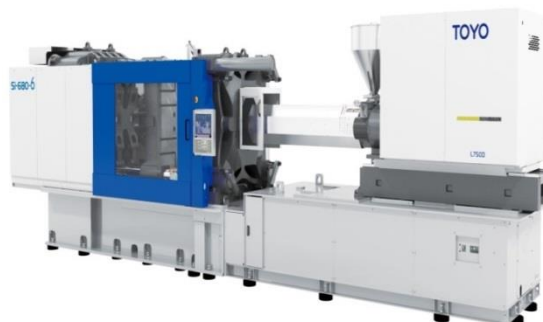
取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ 工作機械（東洋精機工業、村田機械、ジェイテクト、ツガミ、DMG森精機、OKK、ヤマザキマザック、牧野フライス、ファナック、中村留精密工業、高松機械製作所 等）
- ✓ 鍛圧機械（コマツ産機・ソノルカエンジニアリング）
- ✓ 射出成形機（東洋機械金属）
- ✓ ロボット・軸受・油圧（不二越）



例①工作機械（マシニングセンタ）

金属を精密加工する機械です。自動車のエンジンや様々な部品を加工します



例②プラスチック射出成形機

プラスチックの原料を溶かし、型に流し込み、圧力をかけて製品を作ります。CDや携帯電話等、プラスチック製品が作られます



例③産業用多関節ロボット

ハンドリングロボットです。人間に代わり、製品の搬送溶接等を行います

都市のインフラ整備に欠かすことのできない機械を販売・レンタル

取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ クレーン、ショベル（コベルコ建機）
- ✓ 杭打機・圧入機（技研製作所）
- ✓ アースオーガー（三和機工）
- ✓ 発電機（デンヨー）
- ✓ 地盤改良機（ワイビーエム）



例①クローラクレーン

重量物の吊上や運搬を行います



例②地盤改良機

住宅などの建築前に、
地盤の改良を行います



例③高所作業車

看板やディスプレイの取り付けの際に
活躍します

国内に13か所、米州に11か所、中国に4か所、東南アジア・インドに8か所の営業拠点を配置し、グローバルなサービス体制を整備

中国・東南アジア・インド

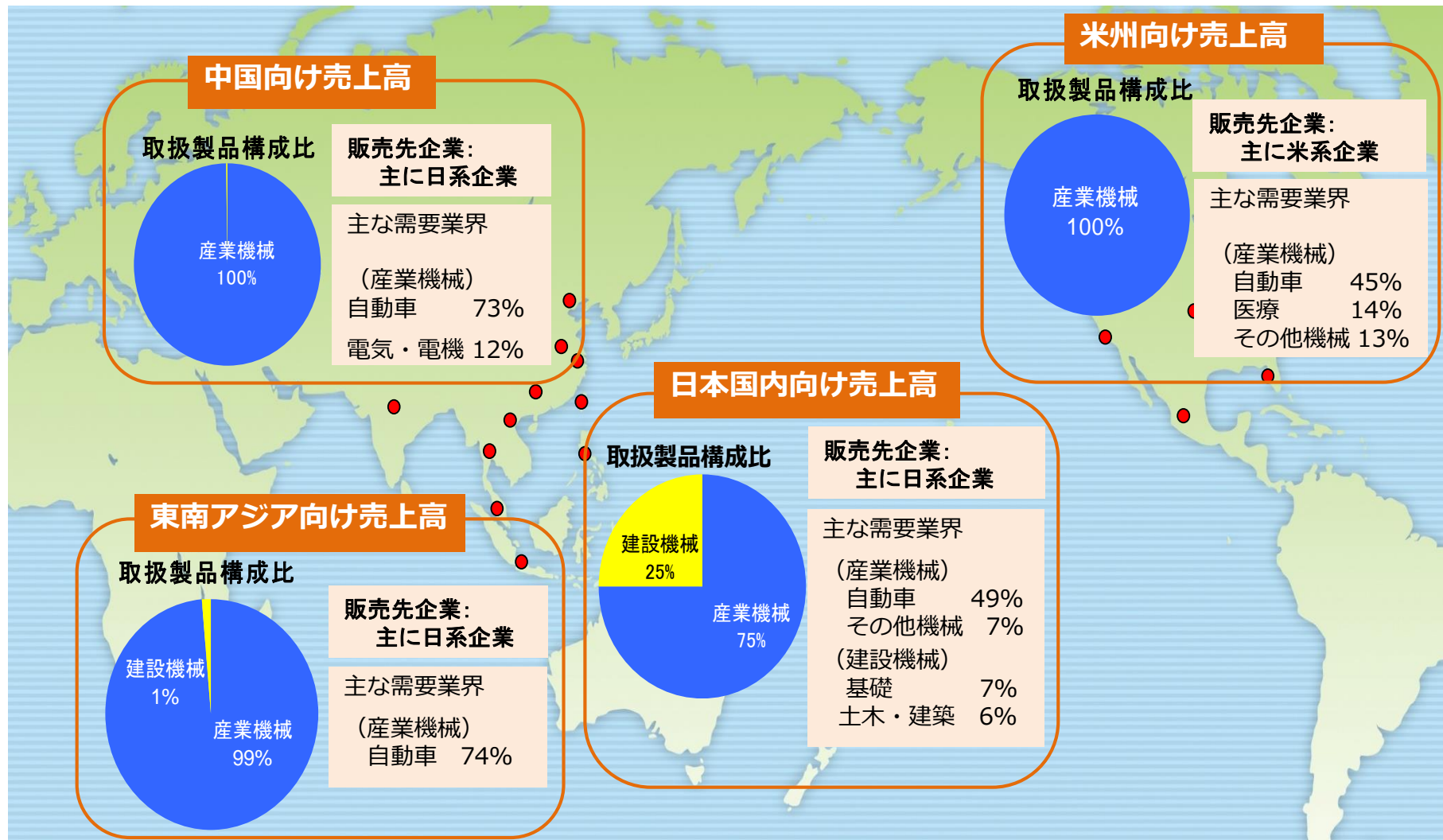


米州



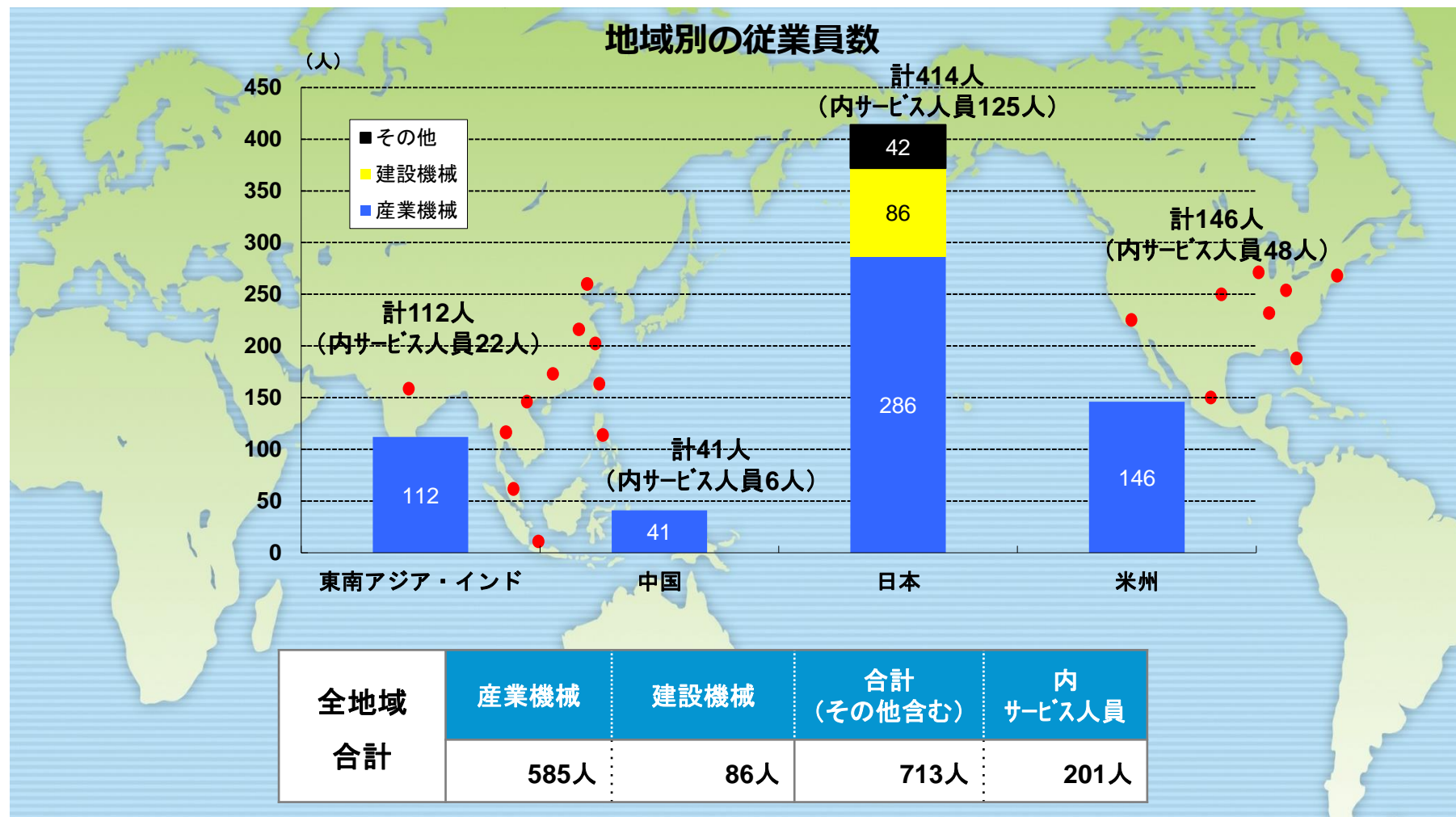
※ 2019年11月30日時点

日本・中国・東南アジアでは日系企業、北米では米系企業を主な販売先とし、世界4極で特徴のあるビジネススタイルを確立



※ 2019年11月30日時点

- 世界4極に713人を配置し、機械の販売及び部品・消耗品・サービスの取扱いを拡大
- サービス人員の育成に注力し、全体の約1/4超となる201人体制を構築



※ 2019年11月30日時点


MM（マルカ・メーカー）会

マルカと専門分野で優秀な技術を有するメーカーが協力し、販売ならびに新商品の共同開発を目的として発足。「お客様のニーズ」と「メーカーの技術」それに「マルカの持つ情報・知識」この3者の密接な連携によるシステムの構築が、当社の提案型営業を支える柱の一つとなっています。

2019年11月末日現在の会員メーカー数は、24社となっています

会員企業	事業内容	所在地
(株)大鋳	ショットブラストマシン（ジクストリッパー）、各種研掃材	大阪府高槻市
大峰工業(株)	チップコンベア、ノタッチシステム、ツイン200	大阪市北区
(株)光栄製作所	油圧プレス、誘導加熱システム	兵庫県宝塚市
先生精機(株)	プログラムレス自動面取機、バリ取専用機、3Dインラインチェッカー	静岡県清水市
(株)コスモテック	プレス修理	名古屋市緑区
千代田工業(株)	パイプバンダー、パイプ自動加工機、FA省力機器	大阪市淀川区
(株)ユーテック	各種生産システムの設計製造、各種検査機の設計製造	大分県臼杵市
三愛エコシステム(株)	産業廃棄物適正処理システム・処理機器の設計製造販売	神奈川県厚木市
(株)紀和マシナリー	工作機械の製造販売	三重県名張市
高橋金属(株)	各種非標準洗浄装置製造、電解イオン水生成装置製造	滋賀県長浜市
(株)富士精機販売	油圧単能盤・NC旋盤・単能盤NC旋盤をベースにした専用機・穴明専用機の設計製作、自社設備用の自動化、搬送装置検査装置等の販売	愛知県小牧市

(次頁に続く)

会員企業	事業内容	所在地
(株)大進工業研究所	自動ろう付機・ろう付補助材料の製造販売、耐蝕耐熱耐摩耗金属による盛金精密鋳造品加工	大阪市大正区
ターゲット・エンジニアリング(株)	各種自動化設備の設計製造	京都市伏見区
(株)ワイエムジー	オートローダー装置、ロボットシステム装置、自動化装置設計・販売	愛知県豊橋市
(株)松井製作所	プラスチック成形用合理化機器・システムの製造販売	東京都品川区
丸昭機械(株)	各種 線材 加工 用機械、各種 工作機械、専用 治工具・省力 自動機械、各種 試験機・設計製作	大阪市 平野区
(株)ハル技研研究所	金属工作機械製造	岡山県岡山市
(株)ニチゾウテック九州事業部	エンジニアリング、技術コンサルティング、メンテナンスの3つの事業領域を連携させた総合技術サービス	熊本県玉名郡
(株)テクノス	自動化システムの製作	群馬県伊勢崎市
(株)ユニ技研	部品供給装置、搬送装置、検査装置、計測装置、各種機械設計、製作	愛知県豊橋市
ダイセイ(株)	精密測定機器製造販売、工作機械製造販売	大阪府池田市
(株)日栄機工 	自動車部品製造用各種専用機製造	愛知県豊田市
ソノルカエンジニアリング(株)	コイルラインシステム、シャーライン、NCトランスファー、冷却システム	大阪府摂津市
(株)管製作所	CNC高圧洗浄機、専用工作機械	山形県天童市

(次頁に続く)

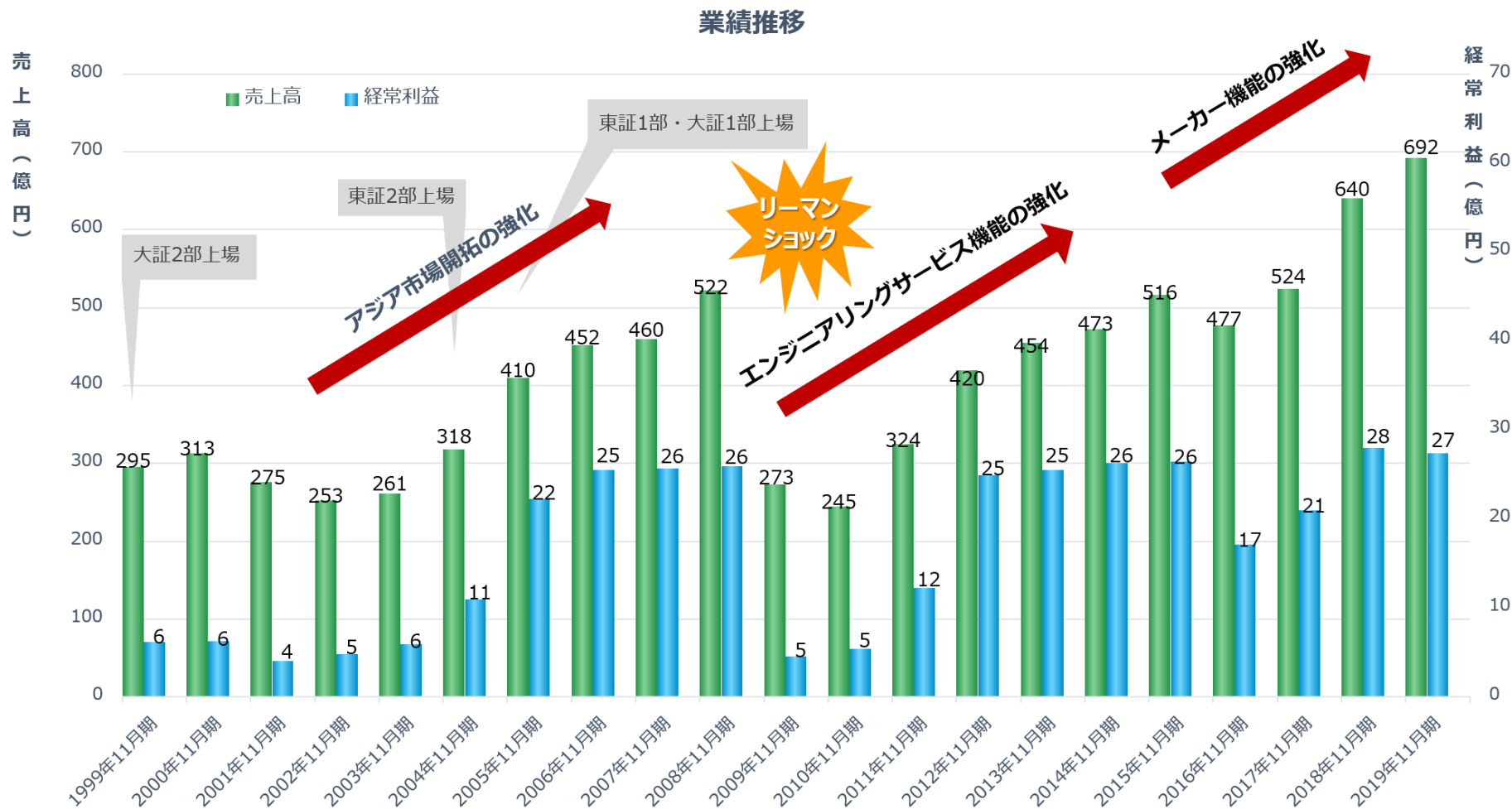
タイMM会 12社

会員企業	事業内容	会員企業	事業内容
CHIYODA KOGYO	チューブ及びパイプベンダー	NISSEN KOHKI	洗浄機、エアリークテスター
COSMO	プレス修理、オーバーホール	ROBOT SYSTEM	パレタイジング・溶接・搬送ロボット
DENYO ASIA	溶接ケーブル、溶接機、サーボガン	SORIME	機械設計・製造、機械電装設計
EUREKA DESIGN	洗浄機、リークテスター、専用機	TAKAHASHI METAL INDUSTRIES	洗浄機、乾燥機、治具、溶接部品
KANTO ENGINEERING	産業用メンテナンス	THAI TAKIGAMI	F A電装設計、溶接機、溶接治具
DENGENSHA	各種抵抗溶接機製造・販売	TOCHU	ショットブラスト装置、水平コンベア

F-MM会 (FOOD MAKER & MARUKA) 11社

会員企業	事業内容	所在地
トキワ工業(株)	自動包装機及び周辺機器	大阪府堺市
(株)コマック	自動制袋充填包装機械の製造	東京都足立区
高橋工業(株)	冷凍機・温湿調整装置製造	大阪府大阪市
(株)プラス機工インダコリング	利器工匠具等製造	愛媛県松山市
(株)平野製作所	産業用メンテナンス	千葉県印旛郡
マツダエース(株)	おにぎり箱詰め機	広島県広島市
(株)タイガーカワシマ	農業用機械製造	群馬県邑楽郡
(株)アースシステム 2 1	豆腐製造機械・製麺装置製造	岡山県岡山市
(株)ミヤザワ	食料品加工機械製造	長野県上伊那郡
エースシステム(株)	蒸気炊飯器、蒸気野菜調理器	大阪府和泉市
高橋金属(株)	洗浄装置製造、電解イオン水生成装置製造	滋賀県長浜市

UNIQUE SOLUTIONSの探求



海外売上高・商品別売上高（連結）

海外売上高（国内売り・海外仕向含む）

単位:百万円、%		18/11期	19/11期	前期比%
米	州	11,978	12,396	3.5
中	国	3,909	4,771	22.0
ア	タイ	2,093	2,300	9.9
	インドネシア	1,404	1,706	21.5
	マレーシア	6,538	6,531	▲0.1
	フィリピン	1,034	1,287	24.5
ジ	インド	442	305	▲30.9
	ベトナム	1,145	605	▲47.1
	シンガポール	112	50	▲55.5
ア	韓国	0	-	▲100.0
	その他アジア	0	43	-
	アジア計	12,771	12,831	0.5
そ	の	15	54	255.9
合	計	28,674	30,053	4.8

商品別売上高

単位：百万円、%

	18/11期		19/11期		前期比%		
	売上高	構成	売上高	構成			
産 業 機 械	工作機械	18,837	29.2	20,501	29.6	8.8	
	鍛圧機械	4,685	7.3	5,907	8.5	26.1	
	射出成形機	6,735	10.4	5,676	8.2	▲15.7	
	ロボット物流機械	3,533	5.5	3,098	4.5	▲12.3	
	環境設備	3,859	6.0	4,109	5.9	6.5	
	産業機械	4,378	6.8	5,542	8.0	26.6	
	食品機械	159	0.2	547	0.8	242.4	
	工具軸受油圧	3,149	4.9	2,773	4.0	▲11.9	
	産機部品	6,048	9.4	5,894	8.5	▲2.5	
	産機その他	4,228	6.6	5,025	7.3	18.8	
	産業機械計	55,617	86.2	59,076	85.4	6.2	
建 設 機 械	油圧ショベル	47	0.1	40	0.1	▲14.5	
	建設用クレーン	3,725	5.8	3,137	4.5	▲15.8	
	基礎機械	1,493	2.3	2,825	4.1	89.2	
	その他建機	574	0.9	507	0.7	▲11.6	
	中古機械	1,222	1.9	1,780	2.6	45.7	
	建機レンタル	1,683	2.6	1,756	2.5	4.3	
	環境設備	7	0.0	7	0.0	6.1	
	トラクター	72	0.1	-	-	-	
		建設機械計	8,825	13.7	10,055	14.5	13.9
		保険・その他	68	0.1	65	0.1	▲3.6
	合計	64,511	100.0	69,197	100.0	7.3	

業界別売上高（連結）

単位:百万円、%		18/11期		19/11期		前期比%
		売上高	構成	売上高	構成	
産 業 機 械	自動車二輪	35,521	55.1	37,864	54.7	6.6
	農業機械	2,321	3.6	2,648	3.8	14.1
	電気電機	1,113	1.7	1,510	2.2	35.7
	建設機械	277	0.4	481	0.7	73.5
	工作機械	1,905	3.0	827	1.2	▲56.5
	その他機械製造	5,075	7.9	5,291	7.6	4.3
	精密医療機器	2,206	3.4	3,092	4.5	40.2
	IT関連	263	0.4	189	0.3	▲28.2
	食料品	231	0.4	572	0.8	147.8
	鋼製家具	70	0.1	64	0.1	▲8.5
	合成樹脂	2,196	3.4	1,853	2.7	▲15.6
	プラント加工機	-	-	-	-	---
	繊維機械	28	0.0	15	0.0	▲44.7
	防衛	205	0.3	337	0.5	64.1
	エネルギー・化学	99	0.2	102	0.1	2.8
	住宅建材	-	-	-	-	---
	リース	117	0.2	142	0.2	20.6
	商社	139	0.2	521	0.8	274.3
	造船	6	0.0	0	0.0	▲93.4
	鉄道運輸	261	0.4	143	0.2	▲44.9
航空機	517	0.8	544	0.8	5.2	
その他	3,067	4.7	2,881	4.2	▲6.2	
合計		55,617	86.2	59,076	85.4	6.2

単位:百万円、%		18/11期		19/11期		前期比%
		売上高	構成	売上高	構成	
建 設 機 械	ゼネコン業者	185	0.3	130	0.2	▲29.5
	物流	636	1.0	372	0.5	▲41.5
	基礎	1,367	2.1	2,760	4.0	101.9
	チャーター	1,667	2.6	1,370	2.0	▲17.8
	土木・建築	2,058	3.2	2,408	3.5	17.0
	商社	446	0.7	878	1.3	96.7
	レンタル	1,104	1.7	909	1.3	▲17.7
	広告	229	0.4	195	0.3	▲14.9
	その他	1,129	1.8	1,029	1.5	▲8.9
	建設機械計	8,825	13.7	10,055	14.5	13.9
	保険・その他	68	0.1	65	0.1	▲3.6
	合計		64,511	100.0	69,197	100.0

注意事項

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。